

### 法座案内

修正会	一月一日七時	輪番
	一月二日七時	輪番
御門徒新年会	一月三日九時半	輪番
宗祖を訪ねて	二月三日十四時	輪番
	三月三日十四時	輪番
味読正信偈	二月十三日九時半	輪番
	三月十三日九時半	輪番
定例法話	一月二十三日九時半	輪番
山城第二組圓光寺住職	樋口浩史師	
	二月二十三日九時半	
山城第二組浄慶寺住職	中島浩彰師	
	三月二十三日九時半	
春季彼岸会	三月二十三日九時半	
	樹洩陽舎 舎幹 栖雲深泥師	

### 教如上人四百回忌法要 日程のご案内

教如上人四百回忌法要が春の法要期間中の四月二日(火)初速夜から四日(木)結願日中までの二昼夜にわたって厳修されます。

二〇一三年四月  
二日(火)  
十四時三十分 初速夜(音楽法要)  
宗祖親鸞聖人七百五十回御遠忌を機に制作した曲・次第で執り行われます。

三日(水)  
七時 晨朝  
十時 日中  
十四時 速夜

四日(木)  
六時三十分 晨朝  
九時 参堂列(縁儀) 稚児も参列します。  
十時三十分 結願日中

左記のとおり、真宗本廟にて法要が執り行われます。  
上山のりにはぜひ岡崎別院にも御参詣いただきますよう、お願いいたします。

### 報恩講厳修のご報告と御礼

今年度もみなさまがたのご支援・ご協力により当院の報恩講を厳修することができましたことを、この紙面をお借りして御礼申し上げます。

顧みれば、山城第一組・山城第二組の住職・坊守・門徒会員のみなさまがたにより事前の清掃奉仕を、大谷専修学院のみなさまがたにより仏具のお磨きを、また当日は各方面のご協力により、信悟院殿御参修、大谷専修学院院長狐野秀存師御教導のもと山城第一組・山城第二組の住職、若院の御出仕を賜り、みなさまがたの御尽力により厳修できたことでございます。

今後、ますますのご高配を賜りますようお願い申し上げます。

宗史蹟親鸞聖人岡崎草庵跡  
真宗大谷派(東本願寺)  
**岡崎別院**  
〒606-8335  
京都市左京区岡崎天王町26番地  
電話・FAX 075-771-2921  
http://okazakibetsuin.com  
info@okazakibetsuin.com



## 死は生をおびやかしつつも 生の真相をうつす 鏡となる

大河内 了悟師

第14号  
平成25年(2013年)  
1月・2月・3月号  
発行：編集 岡崎別院 大  
輪番 福田

先日伯母が亡くなった。九十歳だった。いつも笑顔で他人に気遣いのできる人であったが、舅姑に任せ、家のために尽力し、晩年の十年ほどは病院生活を余儀なくされた生涯であった。

昨年は伯父が今年に叔母が亡くなり、私を可愛がってくださった方々が年々少なくなり、自らの幼少時代がますます懐かしく、また恋しくさえ思われてならない。

従兄の一人が言った。「われわれはあと何回この火葬場に来んならんのやろうな」と。私の脳裏に浮かんだのは、あの人とこの人とそれから…。その中にはもちろん私は入っていない。私にとって死はあくまでも他人事であり、私の問題にはなっていない。

「今までは人が死ぬると思ったに、わしが死ぬとはいつはたまらん」とは、十返舎一九の俳句であるが、死にはもちろん順番があるわけではない。順番のない死に順番をつけている私、この私が問題にならなければ、仏の聲が私に聞こえてくることはない。

死が私の問題になるときに、はじめて生が根底から問われるのである。「どのよう生きるか」という問いは人間から出る問いであるが、「生きる」とはどのようなことなのか」という問いは、人間を超えた仏からの問いであり、死が自分の問題になったとき、はじめてこの私が仏から突き付けられる問いではないか。

死が私の問題にならない生きざまは、「死なないで生きていく」だけの「流転の生」である。死が私の問題になつてはじめて「生(いきる)生(せい)」が問われ、仏の聲がこの私に届くのではなからうか。

自らの死を誤魔化し、考えないようにしている今の私。そんな私に「おまえも死んでいく身を今生きているんや」と叔母から言われているような気がしてならない。「亡き人を案ずる私が亡き人から案じられている」とは、金子先生のお言葉であるが、そこにはじめて「亡き人とともに」という共なる世界が開けるということを叔母の死を通して今うなずかされていることである。

# 分陀利華

「ただいたずらにあかし、いたずらにくらして、老のしらがとなりはてぬる身のありさまこそかなしけれ」

蓮如上人「御文四帖目四通」

先日、大学時のクラブの同窓会があった。皆学生時の面影は留めていたものの、壮年の真つ只中を歩む白髪まじりのおじんと、何とかして老化を隠そうとするおぼんの集まりといっても過言ではなかった。またその場に同席している自分自身も、その中の一

人であることの事実に愕然とさせられた。卒業してから三十年、「俺はいったい何をしてきたんだろうか」という空恐ろしい問いが自分を襲ってきた。現役生を見渡せば我が息子より年下の者ばかり、我が学び舎はすでにその様相を一変し、ここには自分がいた形跡の一片もない。「いったい自分は今どこにいて、何をやるものなのだろうか」という、浦島太郎の心境が知らされた。

卒業して、就職し、結婚し、子供が生まれ、子育てに追われ、気が付けば三十年、目先の「やらねばならない」ことばかりの連続をこなしてきただけだ。何一つとして「せすにおれない」こととの出会いなどなかった。

「人生はやり直すことはできないが、見直すことはできる」は金子先生のお言葉である。現前の事実を目をやり、見直してみれば、そこには「夫と呼んでくれる妻がいる」「お父さんと呼んでくれる子がいる」「わが子よと呼んでくれる親がいる」。この何でもないことの不思議さを思わせられることである。私にとって今回の同窓会は、「何でもないこと不思議さ」を見直す機縁になったことは確かである。

## 〈別院往来〉 結婚式と落語とバイオリンの夕べ

十一月三日 挙式

花立 和之 さん  
堀前 美由希 さん



## 結婚式予約状況

二〇一二年

十二月十六日

村上家

二〇一三年

六月二日

本多家

去る十月三日、山城第二組の主催による「落語とバイオリンの夕べ」が開催された。藤本氏のバイオリン演奏に続いて笑福亭智六氏(前座)と笑福亭仁智氏の落語演じられた。



笑福亭仁智氏



藤本信行氏

# 梅香記

境内において、報恩講を迎えるにあたり、御殿前の樹木と鏡池前の樹木の剪定をし、すつきりとした形になりました。



鏡池(樹木の剪定整備)



本堂渡り廊下(障子ワロン紙張替)

また例年恒例になってきている報恩講前の境内の清掃奉仕を今年十月十八日に、山城第一組、山城第二組のご任職 坊守、ご門徒の方々にご尽力願いました。境内や庭園の落ち葉や雑草を取り除き、おかげで報恩講をお迎えする準備ができました。写真は、ワロン紙に貼り替えた本堂の後堂の障子と、流し台のある北側の空間に設置した物置です。



書院渡り廊下(物置)

## 東本願寺開基如上人

山城第一組門徒会長 細野修作  
岡崎別院院議員



東本願寺開基如上人 如上基寺人

真宗本願寺からほど近くにあり、あること岡崎別院は、親鸞聖人が法然上人の所へ通わられた草庵跡に建立された聞法道場です。多くの聞法者を育ててきた歴史が残っています。

私も岡崎別院でお世話になった一人です。今は亡き宮城顕先生の正信偈講義を十年近く学習させていただきました。そして毎回、分からん分からんと質問しましたが、先生が笑顔で丁寧にお答えいただいたのが今も忘れられません。今も岡崎別院には伝統を引き継がれています。庫裏を見るだけでなく、聞法道場のおいおいを嗅ぎにきてください。

## ~ 2012年岡崎別院にご参詣の方々 ~ (11月7日現在)

- 一月十四日西教寺十八本派
- 一月十五日長延寺十二本派 東京教区神奈川組
- 一月十五日光乘寺四十二本派 安芸教区佐伯東組
- 二月五日法林寺十五本派 大阪教区第十四組
- 二月十一日采恩寺弘教婦人会二十本派 兵庫教区阪神東組
- 二月十五日中央弘教院十八本派
- 三月七日称名寺念仏奉仕団七本派 安芸教区広島北組
- 三月三十一日紅竹の会四十五人
- 四月一日小松教区小松教務所十人 真宗大谷派小松教区
- 四月十一日祖師旧跡参拝奉仕団七十五人 大谷派宗務所研修部
- 四月十八日悠歩会十人
- 四月二十五日西称名寺弘教婦人会十五人 本派大阪教区天野北組
- 五月四日正行寺 関西五月講習会四十人
- 五月十一日福正寺八名 真宗大谷派日豊教区田川組
- 五月十六日近江第二組坊守十五人 大谷派近江第二組
- 五月二十六日武生同朋の会三十五人 大谷派福井教区第八組
- 六月四日最蔵寺二十人 真宗本願寺派東京教区三浦組
- 六月七日浄徳寺同朋の会五五人 大谷派金沢教区第四五組
- 六月十三日西念寺念仏奉仕団五十九人 真宗大谷派
- 六月二十日明行寺二十一人 真宗大谷派
- 六月二十五日奈良教区奈良組婦人会四十五人 本派
- 七月十八日智願寺十五人 大谷派久留米教区八女第三組
- 七月二十二日妙玄寺三十三人 大谷派京都教区近江第十一組
- 九月四日緑浄寺四十一人 真宗大谷派京都教区因伯組
- 九月五日真宗弘光寺派推進員養成研修生一同十七人
- 九月九日真宗木辺派弘教婦人会九十九人 真宗木辺派
- 九月十二日皆羅寺納骨奉仕団十八人 大谷派山形教区第二組
- 九月二十八日西岸寺十三人 大谷派岡崎教区第十七組
- 十月五日西光寺婦人会二十五人 大谷派大阪教区第三組
- 十月十六日西光寺婦人会同朋の会大谷派岡崎教区第十七組
- 十月十九日蓮光寺三十五人 本派山口県宇部市
- 十月二十三日本願教区多紀組八十八人 真宗本願寺派
- 十月三十一日安泉寺三十八人 真宗大谷派大阪教区第五組
- 十一月六日長徳寺二十一人 真宗大谷派岐阜教区第十四組
- 十一月六日熊毛組念仏奉仕団三十一人 本派山口教区浄泉寺
- 十一月七日妙徳寺三十六人 真宗本願寺派
- 十一月十七日山口県太田組総代会九人 本派安芸教区太田組